



NetApp Console

を使用したオンプレミスのONTAPクラスタ管理

On-premises ONTAP clusters

NetApp

November 06, 2025

目次

NetApp Consoleを使用したオンプレミスのONTAPクラスタ管理	1
リリース ノート	2
NetApp ConsoleのオンプレミスONTAPクラスタの新機能	2
2025年10月6日	2
2025年5月12日	2
2024年11月26日	2
2024年10月7日	2
2024年4月22日	3
2023年7月30日	3
2023年7月2日	3
2023年5月4日	3
2023年4月3日	4
2023年1月1日	4
2022年12月4日	5
2022年9月18日	5
2022年6月7日	6
2022年2月27日	7
2022年1月11日	7
NetApp ConsoleでオンプレミスのONTAPクラスタを管理する際の既知の制限	7
ASA r2 システムに関連する制限	7
サポートされていないクラスター	8
システムマネージャの制限	8
始めましょう	9
NetApp ConsoleでのオンプレミスONTAPクラスタ管理について学ぶ	9
NetApp Console	9
機能	9
料金	9
NetApp ConsoleでオンプレミスのONTAPクラスタを検出する	10
ステップ1: 検出と管理のオプションを確認する	10
ステップ2: 環境を設定する	10
ステップ3: クラスターの検出	11
オンプレミスのONTAPクラスタを管理する	15
NetApp Consoleで直接検出されたクラスタを管理する	15
コンソールエージェントで検出されたクラスターを管理する	16
NetApp ConsoleからFlexVolボリュームを作成する	17
NetApp ConsoleAPIを使用してFlexGroupボリュームを作成する	18
NetApp ConsoleからONTAP System Managerにアクセスする	18
NetAppデータサービスを有効にする	20
クラスター情報と契約の詳細を表示する	20

NetApp Digital Advisorを使用してクラスタを最適化する	21
機能	21
サポートされているONTAPシステム	21
詳細情報	21
NetApp ConsoleからオンプレミスのONTAPシステムを削除する	21
知識とサポート	23
サポートに登録する	23
サポート登録の概要	23
NetAppサポートのためにNetApp Consoleに登録する	23
Cloud Volumes ONTAPサポートにNSS 認証情報を関連付ける	25
ヘルプを受ける	27
クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける	27
セルフサポートオプションを使用する	27
NetAppサポートでケースを作成する	27
サポートケースを管理する	30
法律上の表示	31
著作権	31
商標	31
特許	31
プライバシー ポリシー	31
オープンソース	31

NetApp Consoleを使用したオンプレミスのONTAP クラスター管理

リリース ノート

NetApp ConsoleのオンプレミスONTAPクラスタの新機能

NetApp ConsoleでのオンプレミスのONTAPクラスタ管理の新機能について説明します。

2025年10月6日

BlueXPはNetApp Consoleになりました

NetApp Consoleは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetApp Data Servicesの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、より高速なワークフロー、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetApp Consoleのリリースノート](#)"。

2025年5月12日

BlueXPアクセスロールが必要

オンプレミスのONTAPクラスタを表示、検出、または管理するには、組織管理者、フォルダーまたはプロジェクト管理者、ストレージ管理者、またはシステムヘルススペシャリストのいずれかのアクセスロールが必要になります。"[アクセスロールについて学習します。](#)"

2024年11月26日

プライベートモードを備えたASA r2 システムのサポート

BlueXP をプライベートモードで使用するとき、NetApp ASA r2 システムを検出できるようになりました。このサポートは、BlueXPの 3.9.46 プライベートモードリリース以降で利用できます。

- "[ASA r2システムの詳細](#)"
- "[BlueXPの展開モードについて学ぶ](#)"

2024年10月7日

ASA r2 システムのサポート

BlueXP を標準モードまたは制限モードで使用する場合、BlueXPでNetApp ASA r2 システムを検出できるようになりました。NetApp ASA r2 システムを検出し、作業環境を開くと、System Manager に直接移動します。

ASA r2 システムでは他の管理オプションは利用できません。標準ビューを使用することはできず、BlueXPサービスを有効にすることもできません。

BlueXP をプライベートモードで使用する場合、ASA r2 システムの検出はサポートされません。

- ["ASA r2システムの詳細"](#)
- ["BlueXPの展開モードについて学ぶ"](#)

2024年4月22日

ボリュームテンプレートはサポートされなくなりました

テンプレートからボリュームを作成することはできなくなりました。このアクションは、利用できなくなったBlueXP修復サービスに関連付けられていました。

2023年7月30日

FlexGroupボリュームを作成する

コネクタを使用してクラスターを管理している場合は、BlueXP API を使用してFlexGroupボリュームを作成できるようになりました。

- ["FlexGroupボリュームの作成方法を学ぶ"](#)
- ["FlexGroupボリュームとは何かを学ぶ"](#)

2023年7月2日

私の不動産からのクラスター検出

BlueXPログインのONTAPメール アドレスに関連付けられている ONTAP クラスターに基づいてBlueXP が事前に検出したクラスターを選択することで、キャンバス > マイ エステート からオンプレミスのONTAPクラスターを検出できるようになりました。

["マイエステートページからクラスターを発見する方法を学びます"](#)。

2023年5月4日

BlueXP backup and recoveryを有効にする

ONTAP 9.13.1 以降では、コネクタを使用してクラスターを検出した場合、System Manager（詳細ビュー）を使用してBlueXP backup and recoveryを有効にすることができます。["BlueXP backup and recoveryの有効化について詳しくは"](#)

ONTAPバージョンイメージとハードウェアファームウェアのアップグレード

ONTAP 9.10.1 以降では、System Manager（詳細ビュー）を使用してONTAPバージョン イメージとハードウェア ファームウェアをアップグレードできます。最新の状態を維持するために自動アップグレードを受信するか、ローカル マシンまたはBlueXPを使用してアクセスできるサーバーから手動で更新するかを選択できます。["ONTAPとファームウェアのアップグレードの詳細"](#)

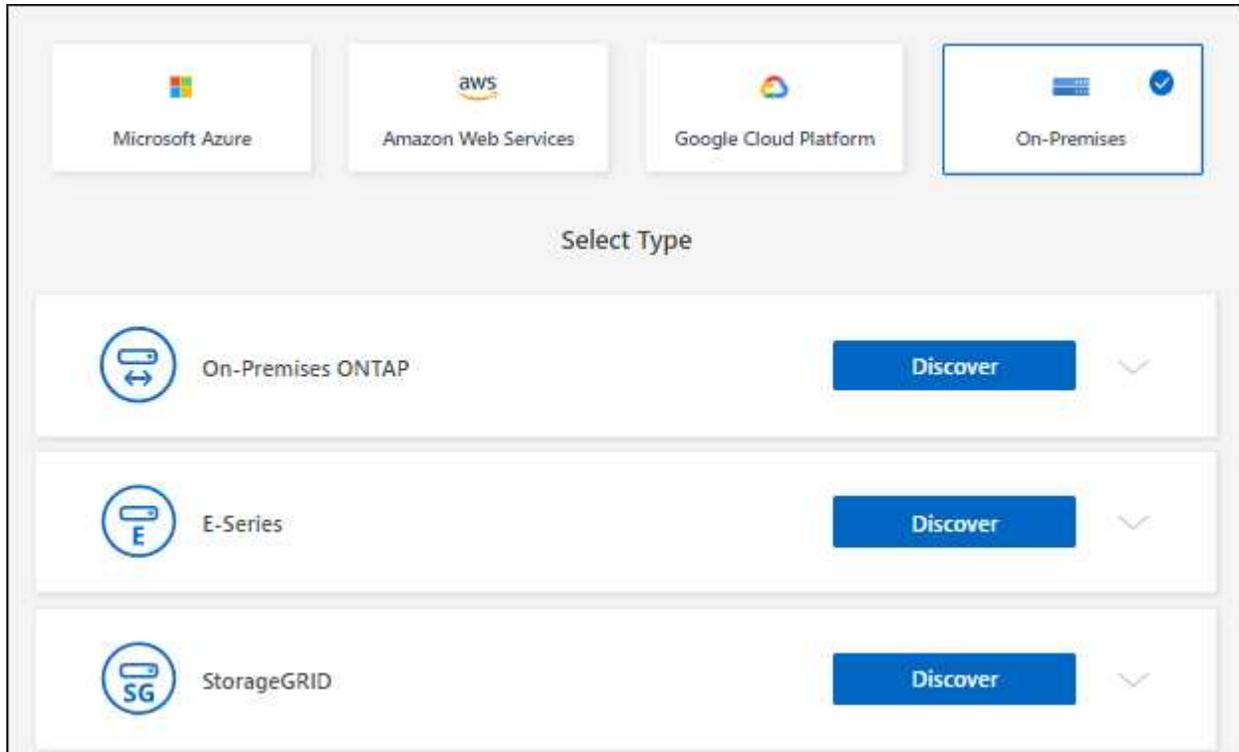


コネクタがない場合は、ローカル マシンから更新することはできませんBlueXPを使用してアクセスできるサーバーからのみ更新できます。

2023年4月3日

BlueXPコンソールからの単一の検出オプション

BlueXPコンソールからオンプレミスのONTAPクラスターを検出すると、次の1つのオプションが表示されます。



以前は、直接検出とコネクタを使用した検出のフローが別々にありました。これら2つのオプションはどちらも引き続き利用可能ですが、1つのフローに統合されています。

検出プロセスを開始すると、BlueXPは次のようにクラスターを検出します。

- ONTAPクラスターに接続されたアクティブなコネクタがある場合、BlueXPはそのコネクタを使用してクラスターを検出し、管理します。
- コネクタがない場合、またはコネクタがONTAPクラスターに接続されていない場合、BlueXPは自動的に直接検出および管理オプションを使用します。

["検出と管理のオプションの詳細"](#)。

2023年1月1日

ONTAP資格情報を保存する

コネクタを使用せずに直接検出されたオンプレミスのONTAP作業環境を開くときに、作業環境を開くたびに入力する必要がないように、ONTAPクラスターの資格情報を保存するオプションが追加されました。

["このオプションの詳細をご覧ください。"](#)

2022年12月4日

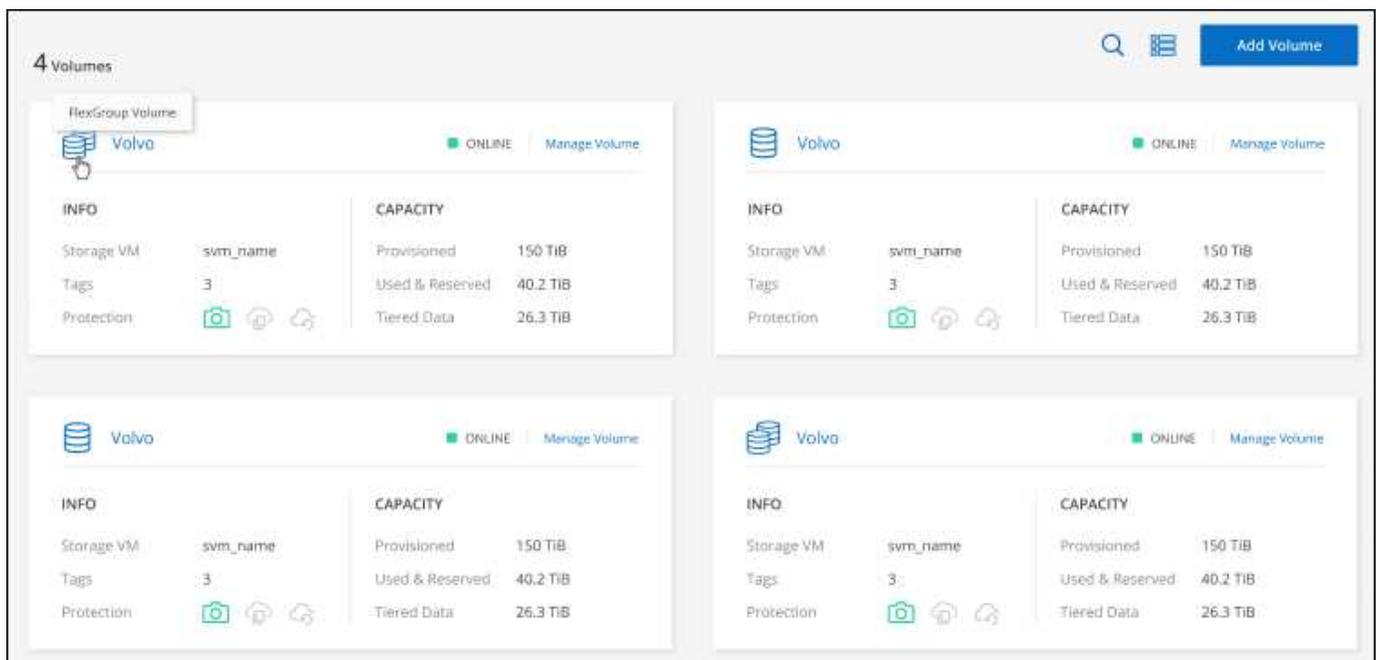
オンプレミスのONTAPクラスターを検出する新しい方法

コネクタを使用せずにオンプレミスのONTAPクラスターを直接検出できるようになりました。このオプションにより、System Manager 経由のみでクラスタ管理が可能になります。このタイプの作業環境では、BlueXPデータ サービスを有効にすることはできません。

["この検出および管理オプションの詳細"](#)。

FlexGroupボリューム

コネクタを通じて検出されたオンプレミスのONTAPクラスターの場合、BlueXPの標準ビューに、System Manager またはONTAP CLI を通じて作成されたFlexGroupボリュームが表示されるようになりました。これらのボリュームは、複製、設定の編集、削除などによって管理することもできます。



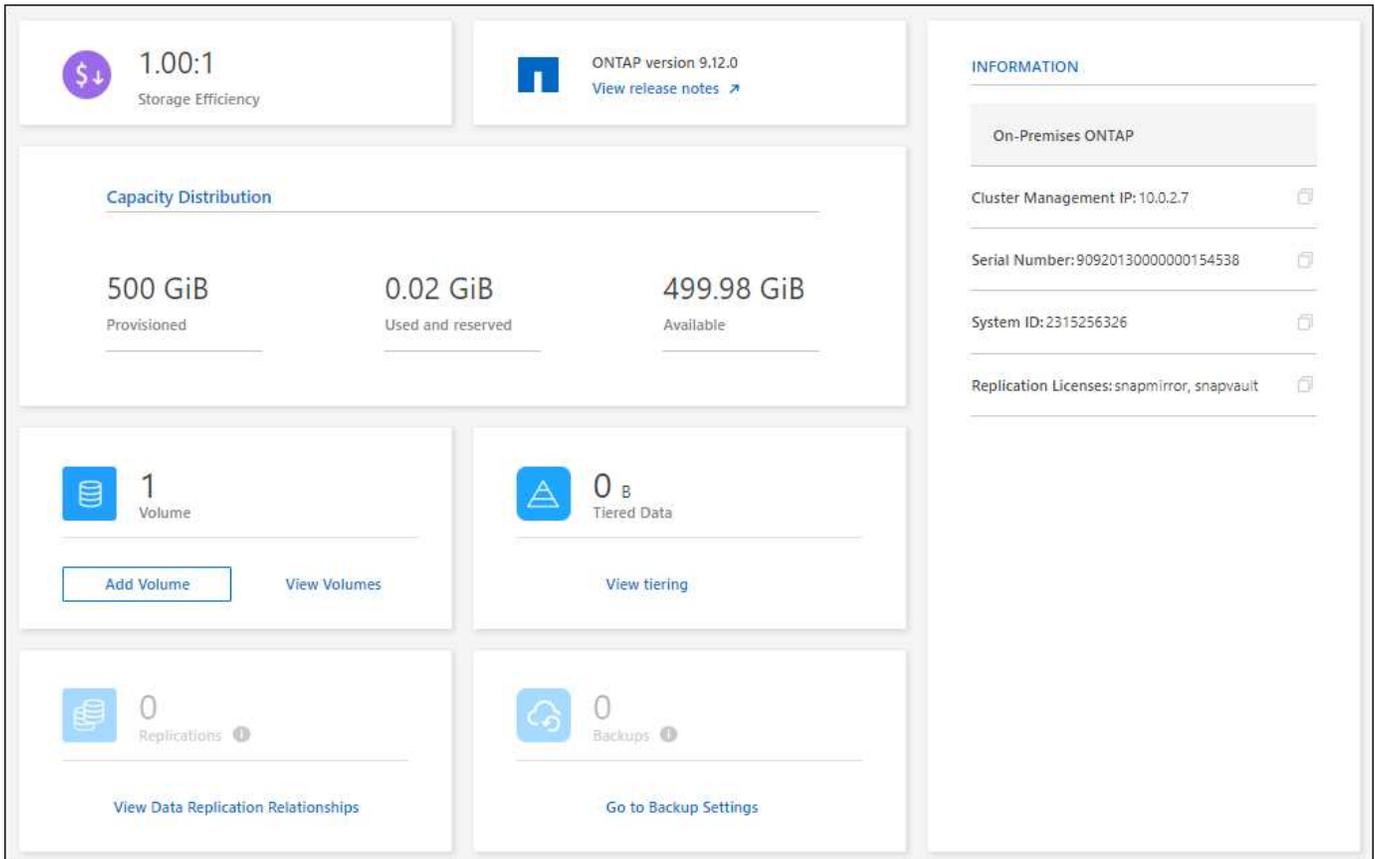
BlueXP はFlexGroupボリュームの作成をサポートしていません。FlexGroupボリュームを作成するには、引き続き System Manager または CLI を使用する必要があります。

2022年9月18日

新しい概要ページ

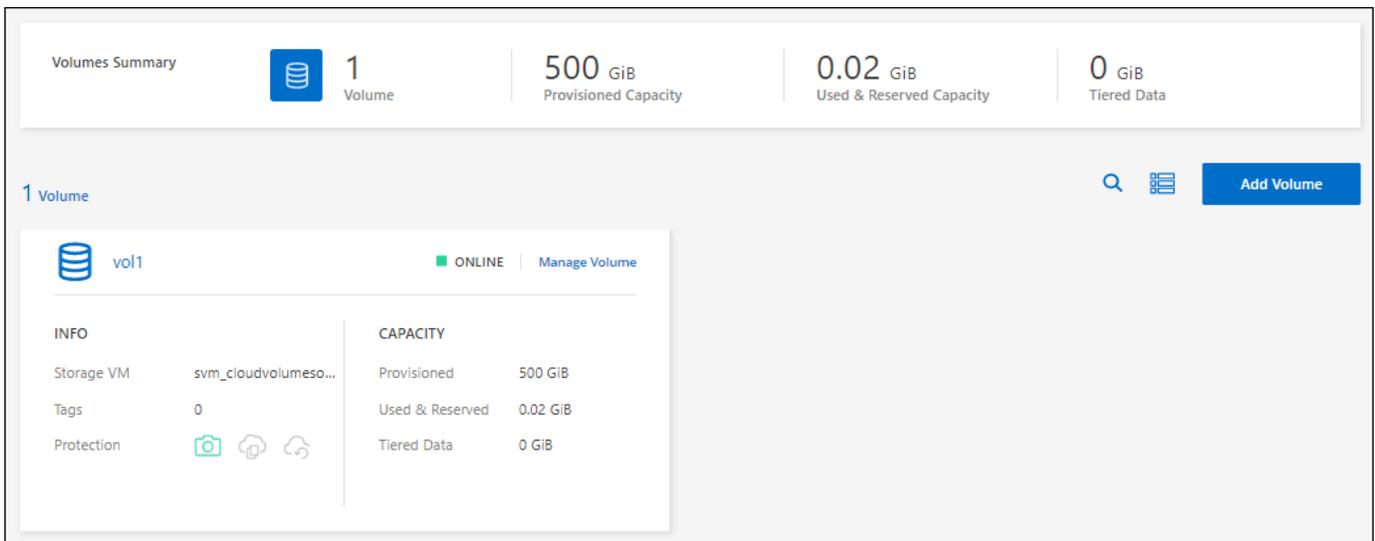
オンプレミスのONTAPクラスターに関する重要な詳細を提供する新しい概要ページを導入しました。たとえば、ストレージ効率、容量配分、システム情報などの詳細を表示できるようになりました。

また、データ階層化、データ複製、バックアップを可能にする他のBlueXPサービスとの統合に関する詳細も表示できます。



ボリュームページの再設計

クラスター上のボリュームの概要を提供するために、ボリューム ページを再設計しました。概要には、ボリュームの合計数、プロビジョニングされた容量、使用済み容量と予約済み容量、階層化されたデータの量が表示されます。



2022年6月7日

新しい詳細ビュー

ONTAPオンプレミス クラスターの高度な管理を実行する必要がある場合は、ONTAPシステムに付属の管理インターフェイスであるONTAP System Manager を使用して実行できます。高度な管理を行うために Cloud Manager を離れる必要がないように、System Manager インターフェイスを Cloud Manager 内に直接組み込んでいます。

この詳細ビューは、9.10.0 以降を実行しているオンプレミスのONTAPクラスターでプレビューとして利用できます。今後のリリースでは、このエクスペリエンスを改良し、機能強化を追加する予定です。製品内チャットを使用してフィードバックをお送りください。

- ["直接検出されたクラスターを管理する方法を学ぶ"](#)
- ["コネクタで検出されたクラスターを管理する方法を学びます"](#)

2022年2月27日

デジタルウォレットに「オンプレミスONTAP」タブが追加されました

オンプレミスのONTAPクラスターのインベントリと、そのハードウェアおよびサービス契約の有効期限を表示できるようになりました。クラスターに関する追加の詳細も利用できます。

["この重要なオンプレミス クラスター情報を表示する方法を学びます"](#)。クラスター用のNetAppサポート サイトアカウント (NSS) が必要であり、NSS 認証情報を Cloud Manager アカウントに添付する必要があります。

2022年1月11日

オンプレミスのONTAPクラスター上のボリュームに追加したタグは、タグ付けサービスで使用できます。

ボリュームに追加したタグは、アプリケーション テンプレート サービスのタグ付け機能に関連付けられるようになりました。これにより、リソースの管理を整理して簡素化できます。

NetApp ConsoleでオンプレミスのONTAPクラスターを管理する際の既知の制限

今回のリリースでサポートされていない、または今回のリリースでは正常に機能しないプラットフォーム、デバイス、機能が記載されています。これらの制限事項をよく確認してください。

ASA r2 システムに関連する制限

NetApp ASA r2 システムを検出すると、System Manager に移動します。

ASA r2 システムでは他の管理オプションは利用できません。標準ビューを使用することはできず、NetAppデータ サービスを有効にすることもできません。

["ASA r2システムの詳細"](#)

サポートされていないクラスター

SAML 認証が設定されているオンプレミスのONTAPクラスターは、コンソールではサポートされません。

システムマネージャの制限

次の System Manager 機能はコンソールからはサポートされません。

- クラスターのセットアップ

オンプレミスのONTAPクラスターで管理 IP アドレスを設定し、管理者パスワードを構成すると、コンソールでクラスターを検出できるようになります。

- ロールベースのアクセス制御（コンソールエージェントのみ）

コンソール エージェントを使用してオンプレミスのONTAPクラスターを検出および管理する場合、System Manager からのロールベースのアクセス制御はサポートされません。検出プロセス中に管理者の資格情報を入力するよう求められます。これらの資格情報は、System Manager から実行されるすべてのアクションに使用されます。

直接検出オプションを使用すると、コンソールでシステムを開くたびに、ONTAP認証情報を使用してログインするように求められます。

- NetApp Backup and Recoveryのアクティベーション

System Manager からのバックアップとリカバリを有効にするには、クラスターのバージョンが 9.13.1 である必要があります。

コンソール エージェントを使用してクラスターを検出しなかった場合、System Manager (詳細ビュー) を使用してバックアップとリカバリを有効にすることはできません。ただし、コンソールから直接オンプレミス クラスターでバックアップとリカバリを有効にすることができます。"[始める方法を学ぶ](#)"

- オンデマンドアップグレード

クラスターバージョンがONTAP 9.9.1 以前の場合、ファームウェアおよびソフトウェアのオンデマンドアップグレードは利用できません。

コンソール エージェントがない場合、ローカル マシンから更新することはできません。コンソールを使用してアクセスできるサーバーからのみ更新できます。

- グローバル検索

- ユーザーインターフェース設定

始めましょう

NetApp ConsoleでのオンプレミスONTAPクラスタ管理について学ぶ

AFF/ FASコントローラおよびONTAP Select上で実行されているONTAPクラスタをNetApp Consoleから管理できます。オンプレミスのONTAPシステムをコンソールに追加すると、すべてのストレージとデータ資産を一元管理できるようになります。

NetApp Console

NetApp Consoleは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとデータサービスの集中管理を提供します。NetAppデータサービスにアクセスして使用するには、コンソールが必要です。管理インターフェースとして、1つのインターフェースから多数のストレージリソースを管理できます。コンソール管理者は、企業内のすべてのシステムのストレージとサービスへのアクセスを制御できます。

NetApp Consoleの使用を開始するためにライセンスやサブスクリプションは必要ありません。ストレージシステムまたはNetAppデータサービスへの接続を確保するためにクラウドにコンソールエージェントを展開する必要がある場合にのみ料金が発生します。ただし、コンソールからアクセスできる一部のNetAppデータサービスは、ライセンスまたはサブスクリプションベースです。

詳細はこちら ["NetApp Console"](#)。

機能

- NFSおよびCIFSボリュームを管理する
- コンソールから任意の管理対象クラスタのONTAP System Manager にアクセスします。
- 分析と制御による健全性とパフォーマンスの観測性を実現
- データサービスを使用して、データの複製、バックアップ、スキャン、分類、階層化を行います。
- コンソールでハードウェアとソフトウェアの契約ステータス情報を表示する

料金

コストがかかる場合があります。コストは次のような要素によって異なります。

- コンソールエージェントをデプロイしてクラスタを検出および管理する場所。

コンソールエージェントは、クラウドまたはオンプレミスにインストールできます。クラウドにコンソールエージェントをインストールすると、コストが発生します。

- NetApp Backup and Recovery、NetApp Ransomware ResilienceなどのNetAppデータサービスを使用するかどうか。

NetApp ConsoleでオンプレミスのONTAPクラスターを検出する

NetApp ConsoleからオンプレミスのONTAPクラスターを検出し、コンソールから直接ONTAP System Manager を使用してボリュームの管理と高度な管理を実行できるようになります。

必要なコンソールロール:

ストレージ管理者またはシステムヘルススペシャリスト。"[NetApp Consoleのアクセス ロールについて学習します。](#)"

ステップ1: 検出と管理のオプションを確認する

オンプレミスのONTAPクラスターをコンソールに追加するには、2つの方法があります。選択方法は、組織にコンソール エージェントがインストールされているかどうかによって異なります。

コンソールエージェントを使用した検出と管理

このオプションを使用すると、次の機能を使用してONTAP 8.3以降を実行しているクラスターを管理できません。

- NetApp Consoleを通じて基本的なボリューム操作をネイティブに提供します
- ONTAP System Manager (ONTAP 9.10.0以降でサポート) では、コンソールから各クラスターのSystem Managerに直接アクセスできます。
- データ複製、バックアップとリカバリ、データ分類、クラウド階層化を提供するNetAppデータサービスとの統合
- コンソール エージェントをインストールするには、組織管理者のロールが必要です。質問がある場合は、コンソール管理者にお問い合わせください。"[組織の管理者にお問い合わせください。](#)"

直接的な検出と管理

このオプションを使用すると、System Manager を使用してONTAP 9.12.1以降を実行しているクラスターを管理できます。他の管理オプションは利用できません。標準ビューを使用することはできず、NetAppデータサービスを有効にすることもできません。

このオプションにはコンソール エージェントは必要ありません。

コンソールに接続して9.12.1以降を実行しているオンプレミスのONTAPクラスター上のSystem Managerにアクセスすると、コンソールから直接クラスターを管理するように求められます。このプロンプトに従うと、直接検出オプションを使用してコンソールでクラスターが検出されます。

クラスターが検出されると、コンソールのシステム ページでクラスターが利用できるようになります。

NetApp Consoleにコンソール エージェントを追加する場合は、未検出システム ページからオンプレミス クラスターを再度追加する必要があります。これにより、コンソールからのネイティブ管理とNetAppデータ サービスへのアクセスが可能になります。その後、他のシステムを削除する必要があります。

ステップ2: 環境を設定する

オンプレミスのONTAPクラスターを検出する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

一般要件

- クラスタ管理 IP アドレスと管理者ユーザー アカウントのパスワードが必要です。
- コンソールは、HTTPS を使用して ONTAP クラスタを検出します。カスタム ファイアウォール ポリシーを使用する場合、ONTAP クラスタはポート 443 経由の受信 HTTPS アクセスを許可する必要があります。

デフォルトの「mgmt」ファイアウォールポリシーでは、すべての IP からの受信 HTTPS アクセスが許可されます。変更された場合は、エージェント ホストで HTTPS プロトコルが有効になっていることを確認します。

コンソールエージェントでシステムを検出するには

- オンプレミス クラスタは ONTAP 8.3 以降を実行している必要があります。
- クラウド プロバイダーまたはオンプレミスにコンソール エージェントがインストールされている必要があります。

コールド データをクラウドに階層化するには、ターゲット環境のエージェント要件を確認します。

- ["コンソールエージェントについて学ぶ"](#)
- ["複数のエージェントを切り替える方法を学ぶ"](#)
- ["NetApp Cloud Tieringについて学ぶ"](#)
- エージェント ホストはポート 443 (HTTPS) 経由の送信接続を許可する必要があり、ONTAP クラスタはポート 443 経由のクラスタ管理 LIF への受信 HTTP アクセスを許可する必要があります。

エージェントがクラウド内にある場合、事前定義されたセキュリティ グループによってすべての送信通信が許可されます。

直接証拠開示の要件

- オンプレミス クラスタは ONTAP 9.12.1 以降を実行している必要があります。
- クラスタには、NetApp Console サービスへの受信および送信接続が必要です。

<https://cloudmanager.cloud.netapp.com/ontap-service/check-service-connection>

- コンソールにアクセスするために使用するコンピューターには、プライベート ネットワーク内の他のリソースへの接続を提供するのと同様に、オンプレミスの ONTAP クラスタへのネットワーク接続が必要です。

ステップ3: クラスタの検出

コンソールからオンプレミスの ONTAP クラスタを検出するには、次の 2 つの方法のいずれかを使用します。

- ストレージ > 管理 > システム から、追加 + を選択し、オンプレミスの ONTAP クラスタの詳細を手動で追加します。
- ストレージ > 管理 > 検出可能なシステム から、NetApp Console ログインの電子メール アドレスに関連付けられている ONTAP クラスタに基づいてコンソールが事前検出したクラスタを選択します。

検出プロセスを開始すると、コンソールは次のようにクラスタを検出します。

- ONTAPクラスタに接続しているコンソール エージェントがある場合、コンソールはそのエージェントを使用してクラスタを検出および管理します。
- コンソール エージェントがない場合、またはエージェントがONTAPクラスタに接続されていない場合、コンソールは自動的に直接検出および管理オプションを使用します。

クラスターを手動で検出する

クラスター管理 IP アドレスと管理者ユーザー アカウントのパスワードを入力して、コンソールでオンプレミスのONTAPクラスターを検出します。

手順

1. ナビゲーションメニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. *システム*ページで、*追加+*を選択します。
3. *オンプレミス*を選択します。
4. On-Premises ONTAPの横にある **Discover** を選択します。
5. [Discover] ページで、クラスター管理 IP アドレスと管理者ユーザー アカウントのパスワードを入力します。
6. クラスターを直接検出する場合 (コンソール エージェントなし) は、[資格情報を保存] を選択します。

このオプションを選択すると、コンソールからシステムにアクセスするたびに資格情報を再入力する必要がなくなります。これらの資格情報は、独自のNetApp Consoleユーザー ログインに関連付けられています。これらは、NetApp Console組織内の他のユーザーが使用するために保存されるわけではありません。

7. *Discover*を選択します。

コンソール エージェントがなく、コンソールから IP アドレスにアクセスできない場合は、コンソール エージェントを作成するように求められます。コンソール エージェントがない場合は、コンソール管理者に問い合わせでコンソール エージェントを作成してください。

結果

コンソールは、検出されたクラスターを システム ページにシステムとして追加します。これでクラスターの管理を開始できます。

- ["直接検出されたクラスターを管理する方法を学ぶ"](#)
- ["コンソールエージェントで検出されたクラスターを管理する方法を学びます"](#)

事前に検出されたクラスターを追加する

コンソールは、ログイン メールにリンクされているONTAPクラスターを検出し、**Discoverable systems** ページに未検出のクラスターとして表示します。検出されていないクラスターのリストを表示し、一度に1つずつ追加できます。

タスク概要

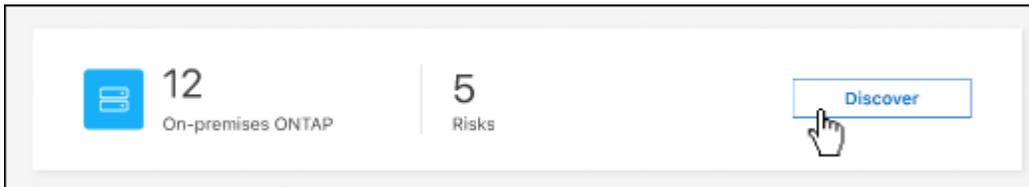
Discoverable systems ページに表示されるオンプレミスのONTAPクラスターについては、次の点に注意してください。

- コンソールにログインするために使用する電子メール アドレスは、登録済みのフルレベルのNetApp サポート サイト (NSS) アカウントに関連付けられている必要があります。
 - NSS アカウントを使用してコンソールにログインし、「**Discoverable systems**」ページに移動すると、コンソールはその NSS アカウントを使用して、アカウントに関連付けられているクラスターを検索します。

- ローカル アカウントまたはフェデレーション接続を使用してコンソールにログインし、**Discoverable systems** ページに移動すると、コンソールによって電子メールの確認が求められます。その電子メール アドレスが NSS アカウントに関連付けられている場合、コンソールはその情報を使用して、アカウントに関連付けられているクラスターを検索します。
- コンソールには、AutoSupportメッセージをNetAppに正常に送信したONTAPクラスターのみが表示されます。
- インベントリ リストを更新するには、**Discoverable systems** ページを終了し、5 分待ってから再度ページに戻ります。

手順

1. ナビゲーション メニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. **Discoverable systems** ページで、オンプレミスのONTAPの * 検出 * を選択します。



3. クラスターを選択し、[検出] を選択します。

The screenshot shows a table titled 'ONTAP clusters (12)'. The table has columns for Cluster name, ONTAP cluster IP, OS version, and Cluster UUID. A 'Discover' button is highlighted in the top right corner of the table area.

Cluster name	ONTAP cluster IP	OS version	Cluster UUID	Show or hide cluster (12)
<input checked="" type="checkbox"/> Cluster_name	192.158.1.38	9.1	759995470648	Show
<input type="checkbox"/> Cluster_name	192.158.1.38	11.3.0.13	759995470648	Show
<input type="checkbox"/> Cluster_name	192.158.1.38	9.1	759995470648	Show

4. 管理者ユーザーアカウントのパスワードを入力します。
5. *Discover*を選択します。

コンソール エージェントがなく、コンソールから IP アドレスにアクセスできない場合は、コンソール エージェントを作成するように求められます。コンソール エージェントがない場合は、コンソール管理者に問い合わせることでコンソール エージェントを作成してください。

- "直接検出されたクラスターを管理する方法を学ぶ"
- "コンソールエージェントで検出されたクラスターを管理する方法を学びます"

オンプレミスのONTAPクラスタを管理する

NetApp Consoleで直接検出されたクラスタを管理する

コンソール エージェントを使用せずにオンプレミスのONTAPクラスタを直接検出した場合は、コンソールでシステムを開いてクラスタを管理し、ONTAP System Managerにアクセスできます。

必要なコンソールロール:

ストレージ管理者またはシステムヘルススペシャリスト。"[コンソール アクセス ロールについて学習します。](#)"

開始する前に

コンソールにアクセスするために使用するコンピューターには、プライベート ネットワーク内の他のリソースへの接続を提供するのと同様に、オンプレミスのONTAPクラスタへのネットワーク接続が必要です。

制限事項

一部の System Manager 機能はコンソールからはサポートされません。

"[制限事項のリストを確認する](#)"。

手順

1. システム ページで、オンプレミスのONTAPシステムを選択します。

システム アイコンは、直接検出されたクラスタを識別します。



2. プロンプトが表示されたら、ONTAP の認証情報を入力します。

認証情報を保存しない限り、システムを開くたびにONTAP認証情報を使用してログインするように求められます。認証情報を保存するオプションがあり、これにより毎回入力する必要がなくなります。これらの認証情報は「ユーザー認証情報」ページで管理できます。場合によっては、コンソール管理者 (組織管理者ロールを持つ) がこのオプションを無効にしている、毎回資格情報を入力するように要求することがあります。

3. System Manager を使用してONTAPを管理します。

ONTAPでSystem Managerを使用する際にヘルプが必要な場合は、以下を参照してください。"[ONTAPのドキュメント](#)"ステップバイステップの手順についてはこちらをご覧ください。次のリンクでは追加のガイダンスを提供します。

- "[ボリュームとLUNの管理](#)"
- "[ネットワーク管理](#)"
- "[データ保護](#)"

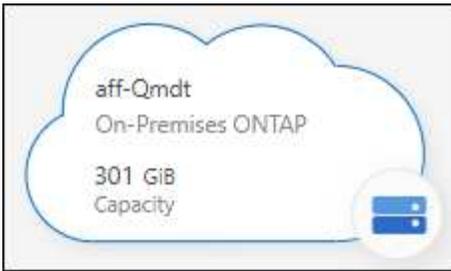
コンソールエージェントで検出されたクラスターを管理する

コンソール エージェントを使用してオンプレミスのONTAPクラスターを検出した場合は、NetApp Consoleから直接ボリュームを作成し、ONTAP System Manager に (コンソールから直接) アクセスして高度な管理を行い、NetAppデータ サービスを有効にすることができます。

必要なNetApp Consoleロール:

ストレージ管理者またはシステムヘルススペシャリスト。"[コンソール アクセス ロールについて学習します。](#)"

システム ページでは、コンソール エージェントで検出されたクラスターのシステム アイコンは次のようになります。



システムを直接検出した場合、システム アイコンに「Direct」という単語が表示されます。

NetApp ConsoleからFlexVolボリュームを作成する

コンソール エージェントを使用してオンプレミスのONTAPクラスターをコンソールに追加した後、コンソールから直接FlexVolボリュームをプロビジョニングおよび管理できます。

コンソールを使用すると、既存のアグリゲート上に NFS または CIFS ボリュームを作成できます。ネイティブ コンソール ページからオンプレミスのONTAPクラスターに新しいアグリゲートを作成することはできません。ただし、コンソールからそれぞれのONTAP System Manager にアクセスしてアグリゲートを作成することはできます。

手順

1. ナビゲーション メニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページで、ボリュームをプロビジョニングするオンプレミスのONTAPクラスターを選択します。
3. *ボリューム > ボリュームの追加*を選択します。
4. ウィザードの手順に従ってボリュームを作成します。
 - a. 詳細、保護、タグ: ボリュームの名前やサイズなどの詳細情報を入力し、スナップショット ポリシーを選択します。

このページの一部のフィールドは説明不要です。次のリストでは、ガイダンスが必要になる可能性のあるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
サイズ	最大サイズは、シン プロビジョニングを有効にするかどうかによって異なり、シン プロビジョニングを有効にすると、使用可能な物理ストレージよりも大きなボリュームを作成できます。
スナップショットポリシー	スナップショット コピー ポリシーは、NetAppスナップショット コピーが作成される頻度と数を定義します。NetAppスナップショット コピーは、パフォーマンスに影響を与えず、最小限のストレージしか必要としない、ポイントインタイム ファイル システム イメージです。デフォルトのポリシーを選択するか、ポリシーなしを選択できます。Microsoft SQL Server の一時データベース (tempdb) などの一時データの場合は、none を選択できます。

- b. プロトコル: ボリュームのプロトコル (NFS、CIFS、または iSCSI) を選択し、ボリュームのアクセス制御または権限を設定します。

サーバーなしで CIFS を選択した場合、Active Directory またはワークグループを使用してサーバーを

構成するように求めるプロンプトが表示されます。

次のリストでは、ガイダンスが必要になる可能性のあるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
アクセス制御	NFS エクスポート ポリシーは、ボリュームにアクセスできるサブネット内のクライアントを定義します。デフォルトでは、コンソールはサブネット内のすべてのインスタンスへのアクセスを提供する値を入力します。
権限とユーザー/グループ	これらのフィールドを使用すると、ユーザーとグループの SMB 共有へのアクセス レベル (アクセス制御リストまたは ACL と呼ばれます) を制御できます。ローカルまたはドメインの Windows ユーザーまたはグループ、あるいは UNIX ユーザーまたはグループを指定できます。ドメイン Windows ユーザー名を指定する場合は、domain\username の形式を使用してユーザーのドメインを含める必要があります。

- 使用プロファイル: 必要なストレージの合計量を削減するために、ボリューム上のストレージ効率機能を有効にするか無効にするかを選択します。
- 確認: ボリュームの詳細を確認し、[追加] を選択します。

NetApp ConsoleAPIを使用してFlexGroupボリュームを作成する

NetApp ConsoleAPI を使用してFlexGroupボリュームを作成できます。FlexGroupボリュームは、ハイパフォーマンスと自動負荷分散を実現するスケールアウト ボリュームです。

- ["APIを使用してFlexGroupボリュームを作成する方法を学びます"](#)
- ["FlexGroupボリュームとは何かを学ぶ"](#)

NetApp ConsoleからONTAP System Managerにアクセスする

コンソール内から直接ONTAP System Manager インターフェイスにアクセスできます。

機能

コンソールからONTAP System Manager にアクセスすると、追加の管理機能にアクセスできます。

- 高度なストレージ管理
整合性グループ、共有、qtree、クォータ、およびストレージ VM を管理します。
- ネットワーク管理
IPspace、ネットワーク インターフェイス、ポートセット、およびイーサネット ポートを管理します。
- イベントと仕事
イベント ログ、システム アラート、ジョブ、監査ログを表示します。
- 高度なデータ保護
ストレージ VM、LUN、整合性グループを保護します。

- ホスト管理

SAN イニシエーター グループと NFS クライアントを設定します。

サポートされている構成

System Manager による高度な管理は、9.10.0 以降を実行しているオンプレミスのONTAPクラスターでサポートされます。

System Manager の統合は、GovCloud リージョンまたはアウトバウンド インターネット アクセスがないリージョンではサポートされません。

制限事項

コンソール経由でONTAP System Manager にアクセスする場合、オンプレミスのONTAPクラスターではいくつかの System Manager 機能がサポートされません。

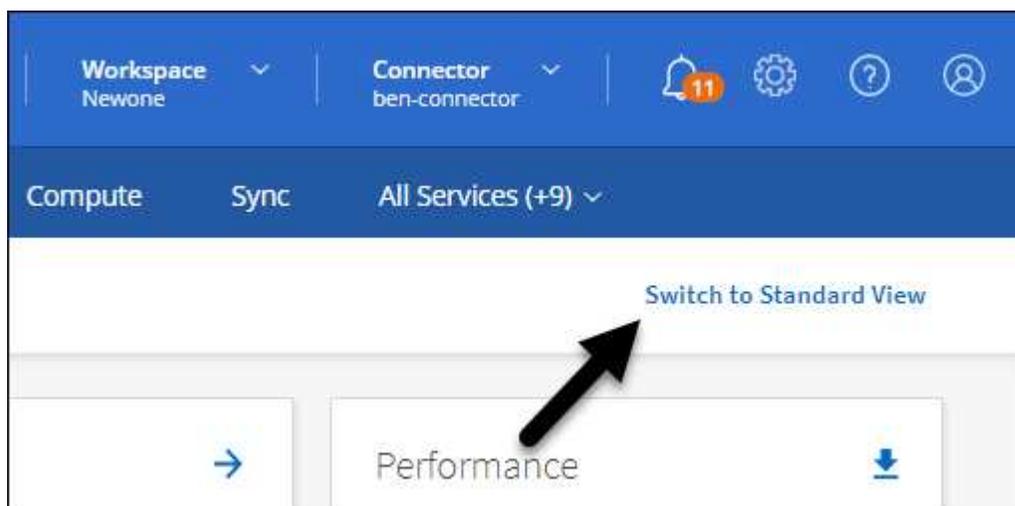
"[制限事項のリストを確認する](#)".

NetApp ConsoleからONTAP System Managerにアクセスする

システムのシステム マネージャーを開きます。

手順

1. システム ページで、ボリュームをプロビジョニングするオンプレミスのONTAPクラスターを選択します。
2. 右側のパネルの「サービス」の下で、「システム マネージャー」を見つけて、「開く」を選択します。
3. 確認メッセージが表示された場合は、内容を読んで「閉じる」を選択します。
4. System Manager を使用してONTAPを管理します。
5. 必要に応じて、[標準ビューに切り替える] を選択して、コンソールを介した標準管理に戻ります。



システムマネージャーのヘルプを取得する

ONTAPでSystem Managerを使用する際にヘルプが必要な場合は、以下を参照してください。"[ONTAPのドキュメント](#)"ステップバイステップの手順についてはこちらをご覧ください。役立つかもしれないリンクをいくつか紹介します。

- "[ボリュームとLUNの管理](#)"
- "[ネットワーク管理](#)"
- "[データ保護](#)"

NetAppデータサービスを有効にする

システム上でNetAppデータ サービスを有効にして、データの複製、データのバックアップ、データの階層化などを行います。

データを複製する

Cloud Volumes ONTAPシステム、Amazon FSx for ONTAPファイルシステム、ONTAPクラスター間でデータを複製します。クラウドとの間でデータを移動するのに役立つ1回限りのデータ レプリケーション、または災害復旧や長期のデータ保持に役立つ定期的なスケジュールを選択します。

["NetApp Replicationのドキュメント"](#)

データのバックアップ

オンプレミスのONTAPシステムからクラウド内の低コストのオブジェクト ストレージにデータをバックアップします。

["NetApp Backup and Recoveryのドキュメント"](#)

データをスキャン、マッピング、分類する

企業のオンプレミス クラスターをスキャンして、データをマッピングおよび分類し、個人情報を識別します。これにより、セキュリティとコンプライアンスのリスクが軽減され、ストレージ コストが削減され、データ移行プロジェクトが支援されます。

["NetApp Data Classificationドキュメント"](#)

クラウドへのデータの階層化

ONTAPクラスターからオブジェクト ストレージに非アクティブなデータを自動的に階層化することで、データ センターをクラウドに拡張します。

["NetApp Cloud Tieringドキュメント"](#)

容量の低いクラスターを特定する

容量が低いクラスターを特定し、現在の容量と予測容量を確認します。

["NetAppライフサイクル計画ドキュメント"](#)

クラスター情報と契約の詳細を表示する

NetApp Consoleで、オンプレミスの各ONTAPクラスターの契約詳細を表示できます。ク

ラスターをまだ検出していない場合は、[サブスクリプションとライセンス] ページから検出することもできます。

必要なコンソールロール:

ストレージ管理者またはストレージ閲覧者。"[NetApp Consoleのアクセス ロールについて学習します。](#)"

"[コンソールからオンプレミスのONTAPクラスタのライセンスを管理する方法の詳細](#)"

NetApp Digital Advisorを使用してクラスタを最適化する

NetApp Digital Advisor を使用すると、ONTAPクラスタの運用、セキュリティ、パフォーマンスを最適化できます。

機能

Digital Advisorを使用すると、ストレージシステムの全体的なステータス、システムの健全性に関する概要情報、インベントリ、計画、アップグレード、貴重な洞察をウォッチリスト レベルで表示できます。

- ストレージシステムの健全性を分析して最適化します
- ストレージシステムに対するあらゆるリスクと、リスクを軽減するための対策に関する洞察を得る
- パフォーマンスデータをグラフ形式で表示して、ストレージデバイスのパフォーマンスを分析します。
- 90% の容量を超えた、または 90% の容量に近づいているシステムの詳細を取得します。
- 有効期限が切れた、または今後 6 か月以内に有効期限が近づくハードウェアとソフトウェアに関する情報を取得します。
- Ansibleを使用してストレージシステムソフトウェアをアップグレードし、ONTAPファームウェアを更新します。

サポートされているONTAPシステム

Digital Advisor は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントに関連付けられているすべてのオンプレミスONTAPシステムとCloud Volumes ONTAPシステムに関する情報を提供します。

詳細情報

"[Digital Advisorのドキュメント](#)"

NetApp ConsoleからオンプレミスのONTAPシステムを削除する

コンソールからオンプレミスのONTAPシステムを管理する必要がなくなった場合は、それを削除します。

必要なコンソールロール:

ストレージ管理者。"[NetApp Consoleのアクセス ロールについて学習します。](#)"

システムを削除しても、ONTAPクラスタには影響しません。いつでもコンソールから再発見できます。

手順

1. ナビゲーションメニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページでオンプレミスのONTAPシステムを選択します。
3. メニューアイコンを選択し、「ワークスペースから削除」を選択します。
4. *削除*を選択して確認します。

知識とサポート

サポートに登録する

NetApp Consoleとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetApp Consoleアカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetApp Consoleによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにNetApp Consoleに登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetApp Consoleアカウントの 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > *資格情報*を選択します。
2. *ユーザー資格情報*を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のNetApp顧客であり、既存のライセンスとシリアル番号を持っているものの、NSS アカウントを持っていない場合は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

手順

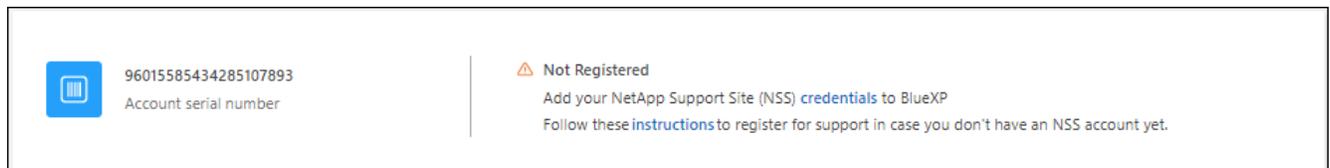
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使用したコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。 [NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証

メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"

- a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
- b. 上記で使用したアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

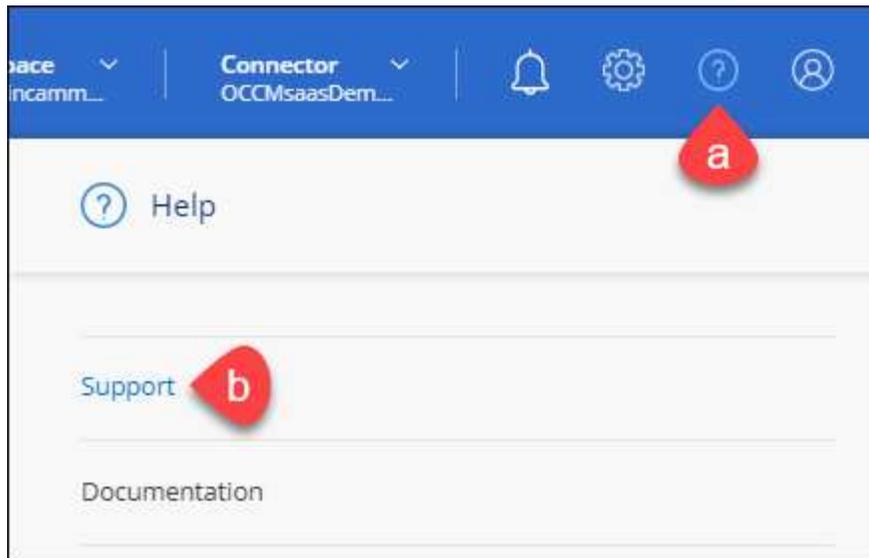
NSS 資格情報をNetApp Consoleアカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられているNSS アカウントとは異なります。

これらのNSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント IDに関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS** 管理 からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときに、パートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、...メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、...メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

ヘルプを受ける

NetApp は、NetApp Consoleとそのクラウド サービスをさまざまな方法でサポートします。ナレッジ ベース (KB) 記事やコミュニティ フォーラムなど、豊富な無料のセルフ サポート オプションが 24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける

クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントを参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

NetAppとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、以下に説明するサポート オプションを使用してください。

セルフサポートオプションを使用する

以下のオプションは、24 時間 365 日無料でご利用いただけます。

- ドキュメント

現在表示しているNetApp Consoleのドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

NetAppナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- ["コミュニティ"](#)

NetApp Consoleコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

NetAppサポートでケースを作成する

上記のセルフ サポート オプションに加えて、サポートを有効にした後は、NetAppサポート スペシャリストと協力して問題を解決することもできます。

始める前に

- *ケースの作成*機能を使用するには、まずNetAppサポート サイトの資格情報をコンソール ログインに関連付ける必要があります。 ["コンソールログインに関連付けられた資格情報を管理する方法を学びます"](#)。
- シリアル番号を持つONTAPシステムのケースを開く場合は、NSS アカウントがそのシステムのシリアル番号に関連付けられている必要があります。

手順

1. NetApp Consoleで、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *リソース*ページで、テクニカル サポートの下にある利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - a. 電話で誰かと話したい場合は、「電話する」を選択してください。電話をかけることができる電話番号をリストした netapp.com のページに移動します。
 - b. NetAppサポート スペシャリストとのチケットを開くには、[ケースを作成] を選択します。
 - サービス: 問題が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、* NetApp Console* は、コンソール内のワークフローまたは機能に関するテクニカル サポートの問題に固有の場合です。
 - システム: ストレージに該当する場合は、* Cloud Volumes ONTAP* または **On-Prem** を選択し、関連する作業環境を選択します。

システムのリストは、コンソール組織と、上部のバナーで選択したコンソール エージェントの範囲内にあります。

- ケースの優先度: ケースの優先度 (低、中、高、重大) を選択します。

これらの優先順位の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスを置きます。

- 問題の説明: 該当するエラー メッセージや実行したトラブルシューティング手順など、問題の詳細な説明を入力します。
- 追加のメールアドレス: この問題を他の人に知らせたい場合は、追加のメールアドレスを入力してください。
- 添付ファイル (オプション): 一度に 1 つずつ、最大 5 つの添付ファイルをアップロードします。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

ntapitdemo 
NetApp Support Site Account

Service Working Enviroment

Select Select

Case Priority 

Low - General guidance

Issue Description

Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.

Additional Email Addresses (Optional) 

Type here

Attachment (Optional) Upload 

No files selected  

終了後の操作

サポート ケース番号を示すポップアップが表示されます。NetAppサポート スペシャリストがお客様のケースを確認し、すぐにご連絡いたします。

サポート ケースの履歴については、設定 > タイムライン を選択し、「サポート ケースの作成」というアクションを探します。右端のボタンを使用すると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする時、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

「選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません」

このエラーは、NSS アカウトとそれに関連付けられているレコード会社が、NetApp Consoleアカウントのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) または作業環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 非技術的なケースを提出する <https://mysupport.netapp.com/site/help>

サポートケースを管理する

アクティブなサポート ケースと解決済みのサポート ケースをコンソールから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の 2 つのビューがあります。
 - 左側のビューには、指定したユーザー NSS アカウントによって過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。
 - 右側のビューには、ユーザーの NSS アカウントに基づいて、会社レベルで過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。

表の結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 関心のある列を追加または削除したり、優先度やステータスなどの列の内容をフィルタリングしたりできます。その他の列は並べ替え機能のみを提供します。

詳細については、以下の手順をご覧ください。

- ケースごとに、ケースメモを更新したり、まだ「クローズ」または「クローズ保留中」ステータスになっていないケースをクローズしたりする機能を提供します。

手順

1. NetApp Console で、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *ケース管理* を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをコンソールに追加します。

ケース管理 ページには、コンソール ユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
 - *組織のケース* の下で *表示* を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
 - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して日付範囲を変更します。
 - 列の内容をフィルタリングします。
 - 表に表示される列を変更するには、 次に、表示する列を選択します。
4. 既存のケースを管理するには、 利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - ケースを表示: 特定のケースに関する詳細をすべて表示します。
 - ケースノートを更新: 問題に関する追加の詳細を入力するか、*ファイルのアップロード* を選択して最大 5 つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

- ケースを閉じる: ケースを閉じる理由の詳細を入力し、[ケースを閉じる] を選択します。

法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["NetApp Consoleに関するお知らせ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。